



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
 コード番号 6629 URL <http://www.technohorizon.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 拓伸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 水上 康

TEL 052-823-8551

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,491	32.4	797	164.4	753	149.5	764	
2019年3月期第2四半期	8,682	7.3	301	36.3	301	41.8	46	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 749百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 156百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	56.70	
2019年3月期第2四半期	3.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,343	6,900	32.3
2019年3月期	18,634	6,221	33.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,900百万円 2019年3月期 6,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		4.00	4.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	9.6	1,200	5.2	1,200	8.1	900	39.3	66.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	21,063,240 株	2019年3月期	21,063,240 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	7,585,945 株	2019年3月期	7,585,945 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	13,477,295 株	2019年3月期2Q	13,477,326 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、IT化が一層進む「教育」市場、中国を中心に自動化ニーズが高まる「FA」市場、高度化が求められる「医療」市場、セキュリティや自動車関連などのマーケットがさらに進化する「安全・生活」市場の4つの市場を重点市場と定め、活動を強化しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高11,491百万円（前年同四半期比32.4%増）、営業利益797百万円（前年同四半期比164.4%増）、経常利益753百万円（前年同四半期比149.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外連結子会社における固定資産の譲渡に伴う特別利益229百万円の計上により764百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 光学事業

光学事業においては、主要ビジネスである書画カメラ事業が堅調に推移しました。事業譲受により新たに開始した電子黒板事業は、文部科学省による教育のICT化の波に乗り、当第2四半期連結累計期間で大幅な増収となりました。また、もう一つの柱である業務用車載機器（ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ）は、引続き事業者の安全意識が高まる中、クラウドで運行データを保管できることが支持されて堅調に推移しました。

これらの結果、光学事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は8,059百万円（前年同四半期比49.3%増）、営業利益は564百万円（前年同四半期比722.5%増）となりました。

② 電子事業

電子事業においては、主力事業であるFA関連機器が、国内景況感の回復を受け、国内機械メーカーからの受注を順調に伸ばしました。FA中国現地法人は、米中貿易戦争による先行きの不透明感があるものの、中国での人件費上昇による省力化ニーズは強く、安定して推移しました。

これらの結果、電子事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は3,432百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は221百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は14,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,762百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が552百万円、受取手形及び売掛金が1,226百万円、商品及び製品が256百万円、仕掛品が817百万円、原材料及び貯蔵品が212百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少いたしました。これは有形固定資産が9百万円、無形固定資産が19百万円、投資その他の資産が24百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は21,343百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,708百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は12,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,318百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,040百万円、短期借入金が1,062百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ289百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が245百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は14,442百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,029百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ679百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が693百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は32.3%（前連結会計年度末は33.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,068,294	2,620,353
受取手形及び売掛金	4,763,547	5,990,144
電子記録債権	987,122	907,764
商品及び製品	1,363,778	1,620,453
仕掛品	590,430	1,407,587
原材料及び貯蔵品	1,710,926	1,923,794
その他	751,198	537,498
貸倒引当金	△30,254	△40,243
流動資産合計	12,205,044	14,967,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,065,691	967,928
土地	2,520,194	2,492,888
その他(純額)	517,101	632,428
有形固定資産合計	4,102,987	4,093,245
無形固定資産		
のれん	882,545	884,283
その他	444,345	423,494
無形固定資産合計	1,326,891	1,307,777
投資その他の資産		
その他	1,091,790	1,067,278
貸倒引当金	△92,651	△92,651
投資その他の資産合計	999,139	974,627
固定資産合計	6,429,018	6,375,651
資産合計	18,634,063	21,343,004
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,746,527	3,787,373
短期借入金	6,253,013	7,315,244
未払法人税等	171,910	194,990
賞与引当金	250,888	266,329
その他	955,693	1,133,033
流動負債合計	10,378,033	12,696,970
固定負債		
社債	—	50,000
長期借入金	1,302,362	1,056,387
退職給付に係る負債	428,734	378,762
その他	303,552	260,124
固定負債合計	2,034,649	1,745,274
負債合計	12,412,682	14,442,244

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500,000	2,500,000
資本剰余金	3,486,269	3,486,269
利益剰余金	1,749,124	2,442,712
自己株式	△1,917,312	△1,917,312
株主資本合計	5,818,081	6,511,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,541	10,497
為替換算調整勘定	385,822	364,453
退職給付に係る調整累計額	10,935	14,138
その他の包括利益累計額合計	403,299	389,090
純資産合計	6,221,381	6,900,759
負債純資産合計	18,634,063	21,343,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	8,682,342	11,491,898
売上原価	6,385,760	8,279,002
売上総利益	2,296,581	3,212,895
販売費及び一般管理費	1,994,885	2,415,325
営業利益	301,695	797,570
営業外収益		
受取利息	3,795	1,488
受取配当金	878	836
為替差益	12,828	—
持分法による投資利益	—	20,193
不動産賃貸料	7,605	7,530
その他	8,949	8,915
営業外収益合計	34,057	38,964
営業外費用		
支払利息	20,460	18,390
為替差損	—	59,944
持分法による投資損失	9,478	—
その他	3,883	4,738
営業外費用合計	33,821	83,073
経常利益	301,931	753,460
特別利益		
固定資産売却益	—	231,708
投資有価証券売却益	177	50
特別利益合計	177	231,758
特別損失		
固定資産売却損	414	1,083
固定資産除却損	2,758	393
投資有価証券評価損	4,662	—
減損損失	374,453	—
特別損失合計	382,289	1,477
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△80,180	983,741
法人税等	△33,884	219,623
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,295	764,117
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,295	764,117

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,295	764,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,065	3,956
為替換算調整勘定	△96,416	△18,738
退職給付に係る調整額	4,333	3,203
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,065	△2,630
その他の包括利益合計	△110,214	△14,209
四半期包括利益	△156,509	749,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△156,509	749,908

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△80,180	983,741
減価償却費	203,291	199,919
のれん償却額	—	104,863
賞与引当金の増減額(△は減少)	△60,542	2,810
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△64,273	△65,109
減損損失	374,453	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29,294	9,584
受取利息及び受取配当金	△4,674	△2,324
支払利息	20,460	18,390
投資有価証券売却損益(△は益)	△177	△50
投資有価証券評価損益(△は益)	4,662	—
固定資産除却損	2,758	393
持分法による投資損益(△は益)	9,478	△20,193
固定資産売却損益(△は益)	414	△230,624
売上債権の増減額(△は増加)	457,210	△1,066,447
たな卸資産の増減額(△は増加)	△173,261	△1,264,771
仕入債務の増減額(△は減少)	474,248	1,049,553
その他	△343,168	241,993
小計	791,406	△38,269
利息及び配当金の受取額	4,674	2,324
利息の支払額	△20,372	△18,876
法人税等の支払額	△71,568	△246,543
法人税等の還付額	24,730	137,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	728,869	△163,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△117,607	△243,216
有形固定資産の売却による収入	320,172	404,220
無形固定資産の取得による支出	△76,660	△38,281
投資有価証券の取得による支出	△142,949	△776
投資有価証券の売却による収入	5,800	1,050
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△622,784	△101,141
その他	18,548	2,566
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615,480	24,420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,328,920	1,075,651
長期借入れによる収入	500,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△398,860	△411,519
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,009	△17,079
配当金の支払額	△53,909	△53,909
その他	△63	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,364,078	693,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56,460	△11,907
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,421,006	542,092
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,291	2,068,294
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	9,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,214,298	2,620,353

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社であった㈱ケーアイテクノロジーは重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社である㈱タイテックが2019年6月21日付で㈱エムディテクノスの株式を取得したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、2019年6月30日をみなし取得日としたため、第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結し、当第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

商品及び製品の評価方法については、主として先入先出法、一部の連結子会社については総平均法及び個別法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より主として移動平均法、一部の連結子会社については個別法に変更しております。

原材料の評価方法については、主として総平均法、一部の連結子会社については移動平均法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より主として移動平均法に変更しております。

仕掛品の評価方法については、主として総平均法、一部の連結子会社については個別法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より主として移動平均法、一部の連結子会社については個別法に変更しております。

これらの評価方法の変更は、基幹システムの変更を契機に、国内の連結子会社の評価方法を見直したことに伴うものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	光学事業	電子事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,397,220	3,285,121	8,682,342	—	8,682,342
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101,244	476,390	577,635	△577,635	—
計	5,498,465	3,761,511	9,259,977	△577,635	8,682,342
セグメント利益	68,611	219,136	287,748	13,947	301,695

(注) 1. セグメント利益の調整額13,947千円は、セグメント間取引消去204,048千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用190,100千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「光学事業」セグメントにおいて、(株)エルモ社が所有する土地・建物の一部について売却を決議したことにより、引き渡し時点での損失発生が見込まれました。そのため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し減損損失374,453千円を計上いたしました。

(のれんの金額の重要な変動)

「光学事業」セグメントにおいて、2018年8月10日付で(株)ケイグランデの株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。このことにより、のれんが357,741千円発生しております。

「電子事業」セグメントにおいて、2018年5月29日付で(株)アド・サイエンスの株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。このことにより、のれんが89,129千円発生しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	光学事業	電子事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,059,355	3,432,542	11,491,898	—	11,491,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,041	1,182,579	1,331,621	△1,331,621	—
計	8,208,397	4,615,122	12,823,519	△1,331,621	11,491,898
セグメント利益	564,333	221,232	785,566	12,003	797,570

(注) 1. セグメント利益の調整額12,003千円は、セグメント間取引消去328,417千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用316,413千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。